

2021年3月期 決算説明会資料

目次

1 .	【連結】財務ハイライト	2頁
2 .	【連結】業績推移	3頁
3 .	【連結】損益の状況	9頁
4 .	【連結】販売の状況	10頁
5 .	【連結】貸借対照表	13頁
6 .	【連結】キャッシュ・フロー	14頁
7 .	事業環境	15頁
8 .	対処すべき課題と進捗	18頁
9 .	新型コロナウイルスの対応状況	25頁
10 .	2022年3月期【連結】業績予想	26頁

1. 【連結】財務ハイライト

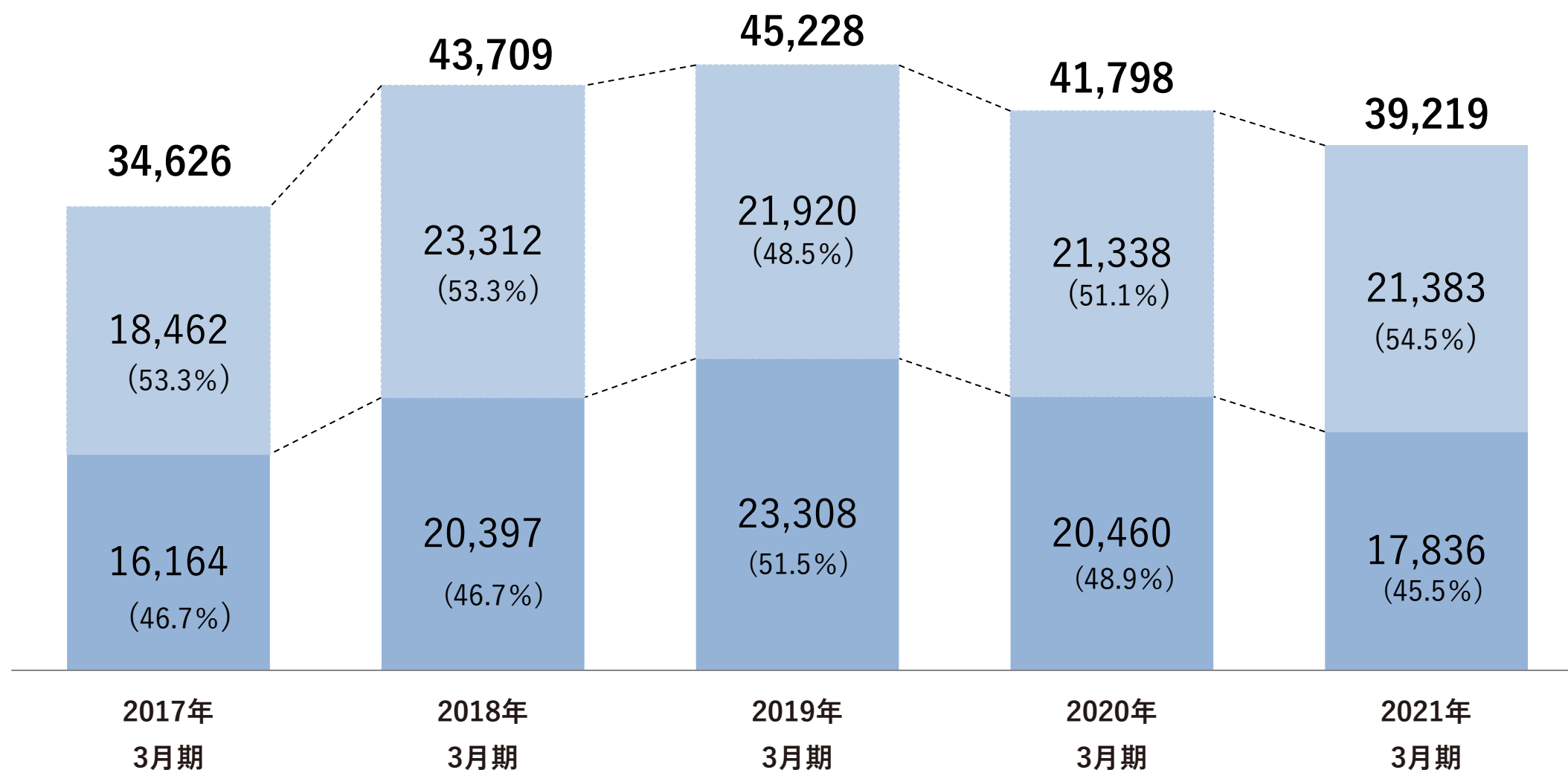
	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
売上高（百万円）	34,626	43,709	45,228	41,798	39,219
経常利益（百万円）	2,042	2,845	2,333	1,697	2,083
親会社に帰属する 当期純利益（百万円）	1,405	2,028	1,564	1,148	1,281
純資産額（百万円）	14,800	16,261	16,928	17,081	17,869
総資産額（百万円）	28,604	34,191	33,616	32,071	33,115
1株当たり純資産（円）	1,304.93	1,433.70	1,492.53	1,506.03	1,575.56
1株当たり当期純利益（円）	123.91	178.81	137.98	101.27	113.01
自己資本比率(%)	51.7	47.6	50.4	53.3	54.0
自己資本当期純利益率(%)	9.8	13.1	9.4	6.8	7.3
期末株価（円）	1,729	2,222	1,554	1,286	1,782
株価収益率(倍)	14.0	12.4	11.3	12.7	15.8

2. 【連結】業績推移（1）直近の売上高推移

前連結会計年度比 6.2% 減少

◆新型コロナウイルス感染症の影響等による設備投資の大幅な減少の影響を受け、下半期は回復するも、前期比で売上高が減少した。

単位：百万円



※下段が上半期実績（）内は通期に対する占有率、上段が下半期実績を示す。

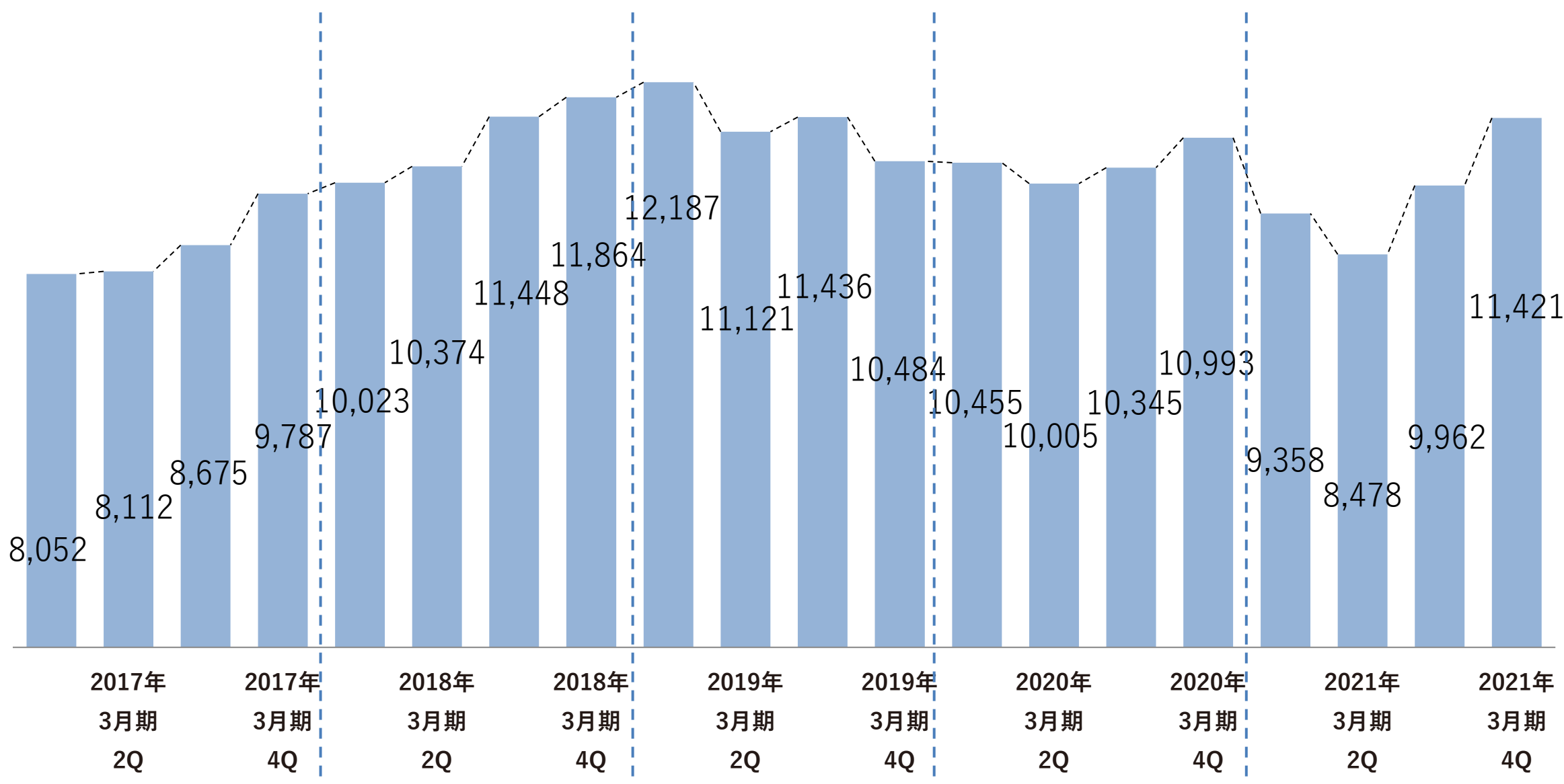
あたらしい、を、素材から。



2. 【連結】業績推移（2）売上高(連結)四半期毎推移

2021年3月期3Q以降、コロナウイルス感染症の影響による低迷から回復の兆しが見られた

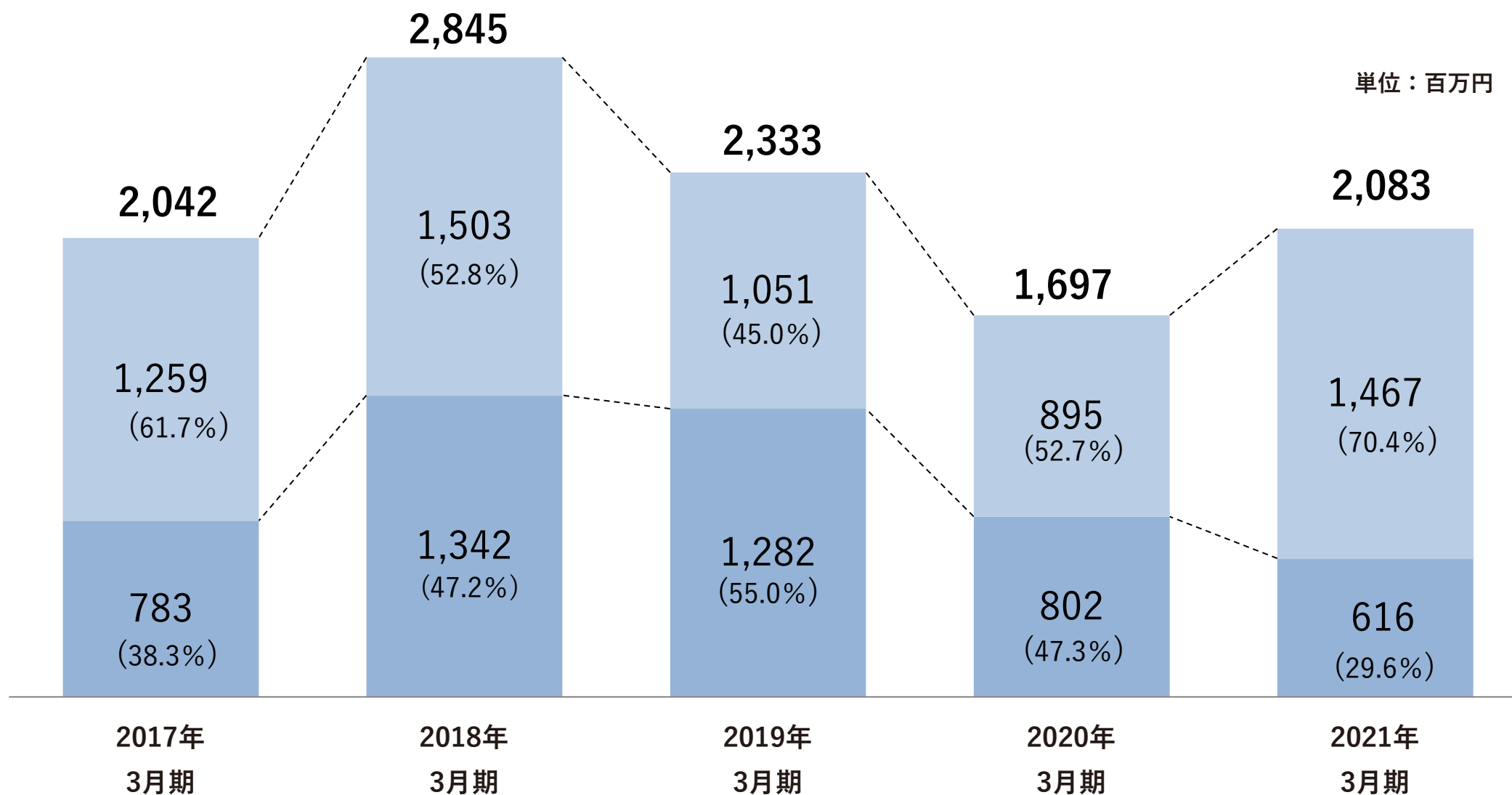
単位：百万円



2. 【連結】業績推移（3）直近の経常利益推移

前連結会計年度比 22.8% 増加

- ◆経費削減による売上原価の減少及び、原材料市況の影響が主因
- ◆原材料市況の影響による相場差益が43百万円発生（前連結会計年度は相場差損170百万円）



※下段 ■ が上半期実績（）内は通期に対する占有率、上段 ■ が下半期実績を示す。

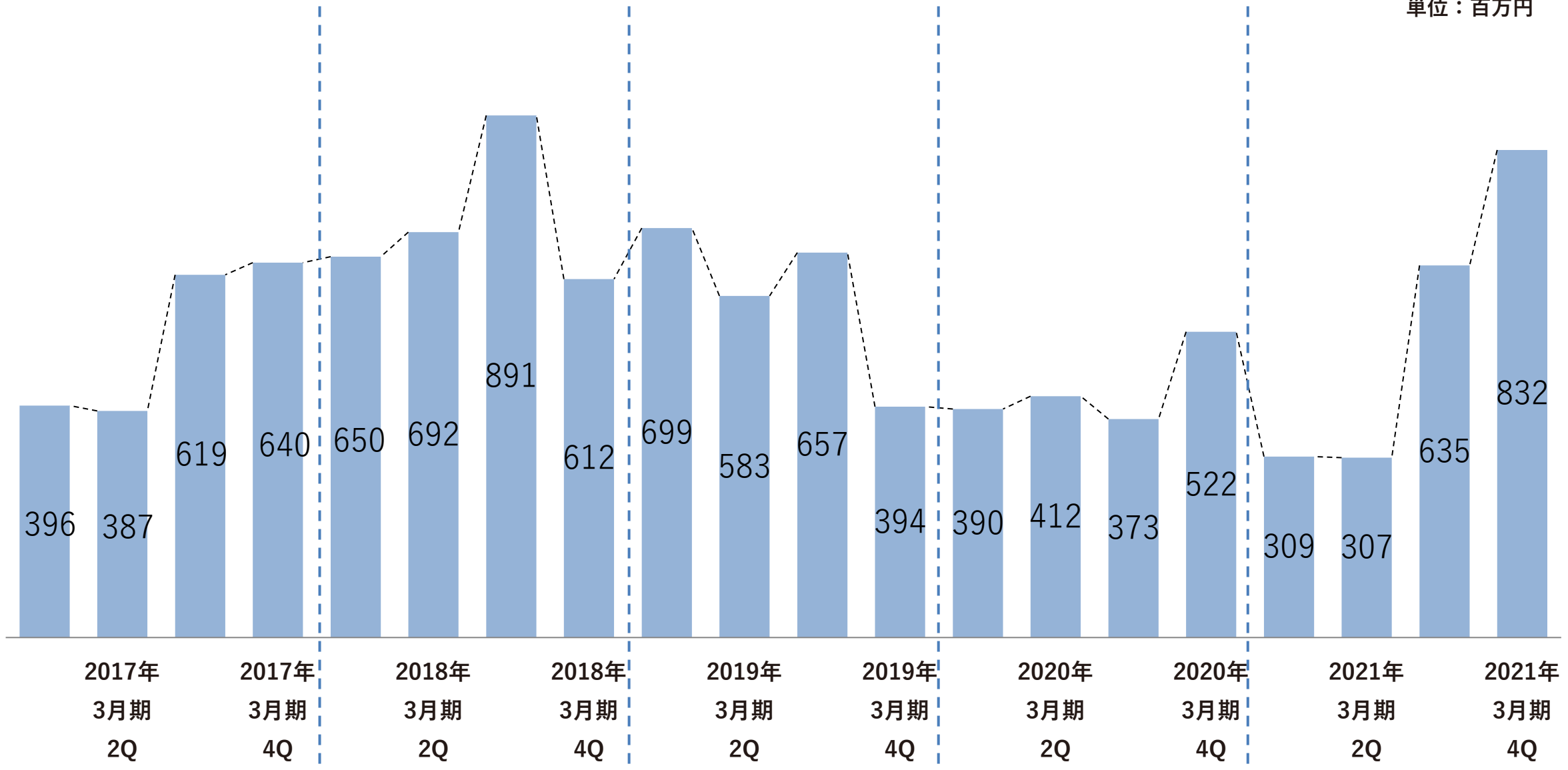
あたらしい、を、素材から。



2. 【連結】業績推移（4） 経常利益(連結)四半期毎推移

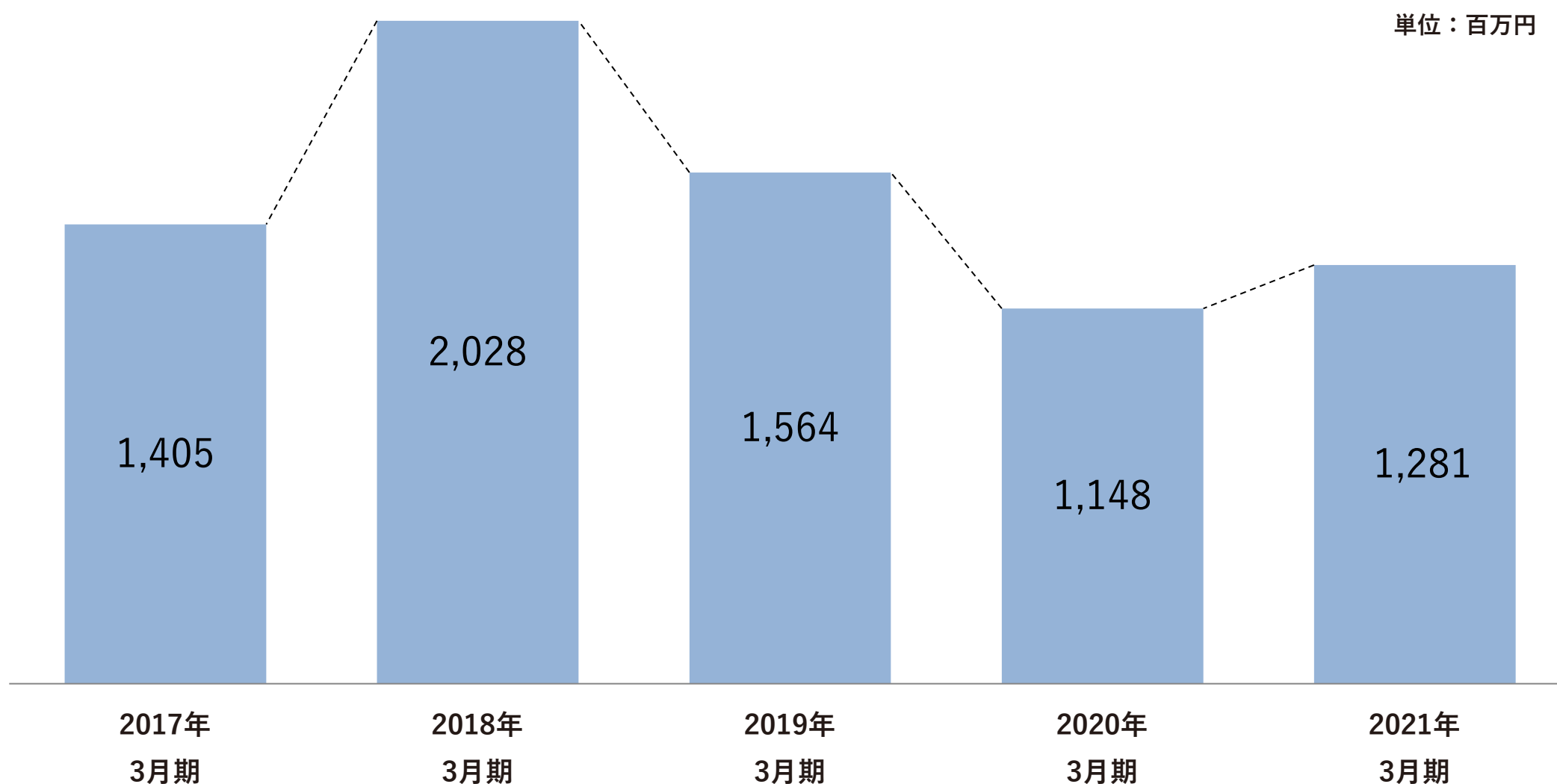
2021年3月期3Q以降は、売上高増大、経費削減および原材料市況の影響により、経常利益が増大した

単位：百万円



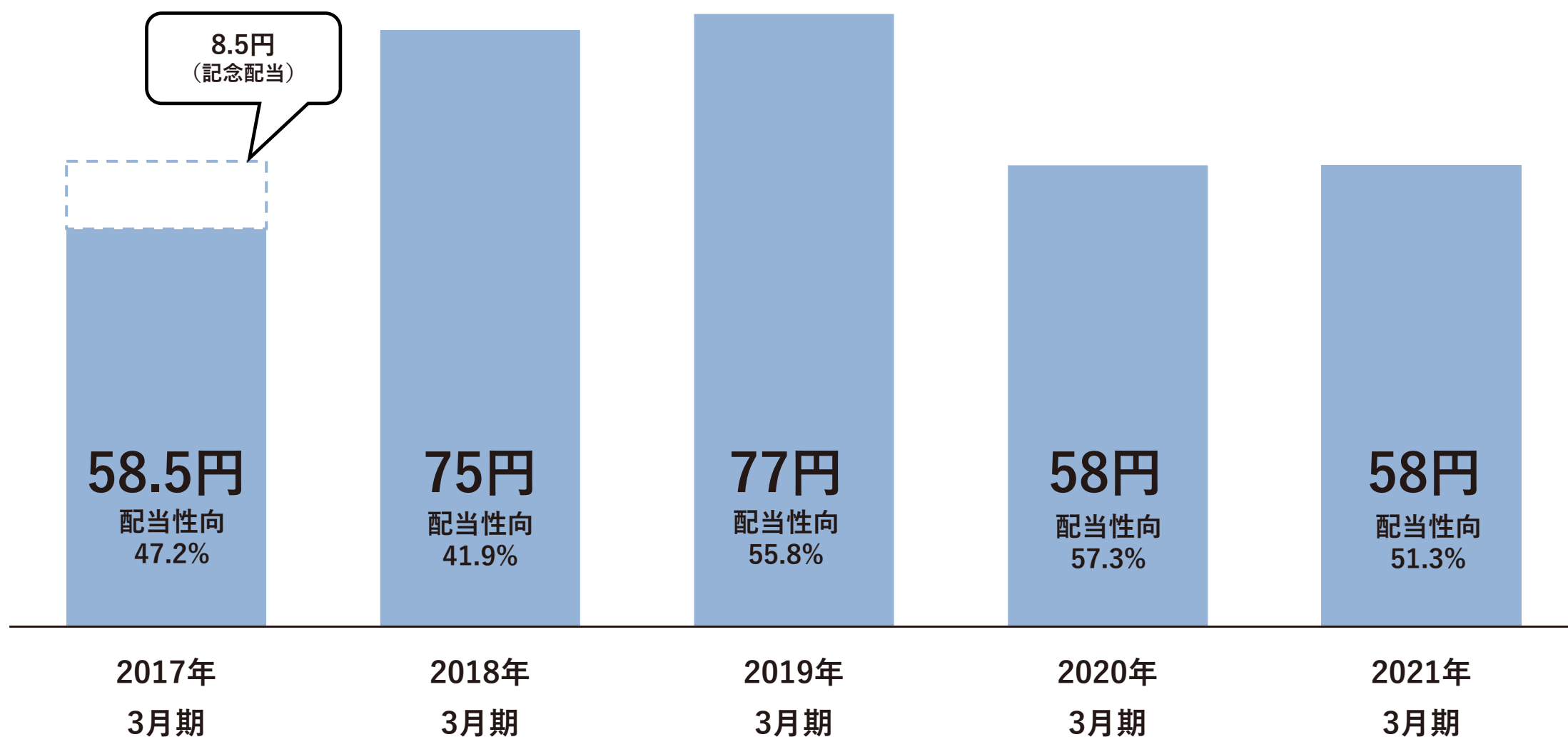
2. 【連結】業績推移（5）直近の当期純利益推移

親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比
11.6% 増加



2. 【連結】業績推移（6）1株当たり配当金の推移

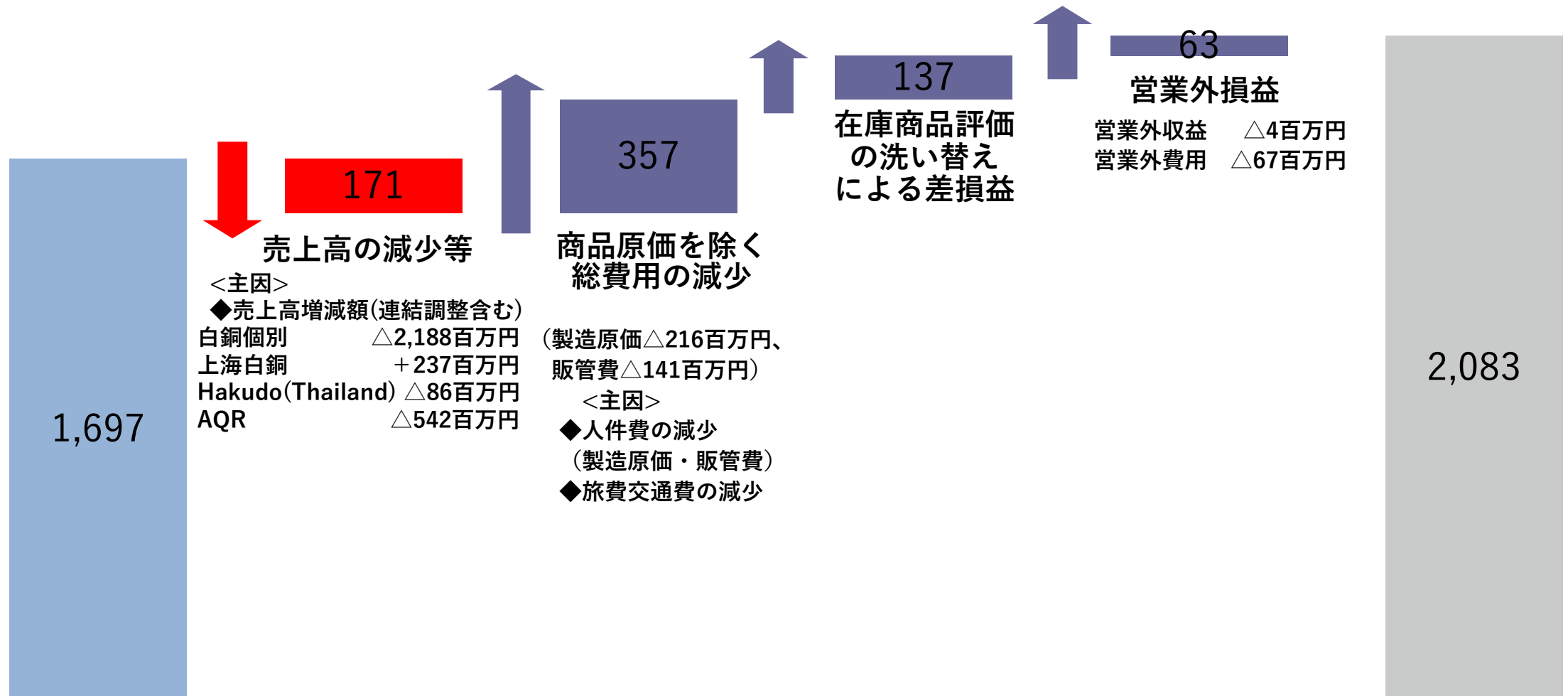
2021年3月期の配当額は、期初発表の配当予想額38円および上方修正時配当予想額44円より増配し、前期と同額とした



3. 【連結】損益の状況 経常利益差異要因

経費削減と在庫商品評価の洗い替えの影響により増益

(単位 百万円)



売上高の減少等
 <主因>
 ◆売上高増減額(連結調整含む)
 白銅個別 △2,188百万円
 上海白銅 +237百万円
 Hakudo(Thailand) △86百万円
 AQR △542百万円

商品原価を除く
 総費用の減少
 (製造原価△216百万円、
 販管費△141百万円)
 <主因>
 ◆人件費の減少
 (製造原価・販管費)
 ◆旅費交通費の減少

営業外損益
 営業外収益 △4百万円
 営業外費用 △67百万円

2020年3月期

2021年3月期



増加要因

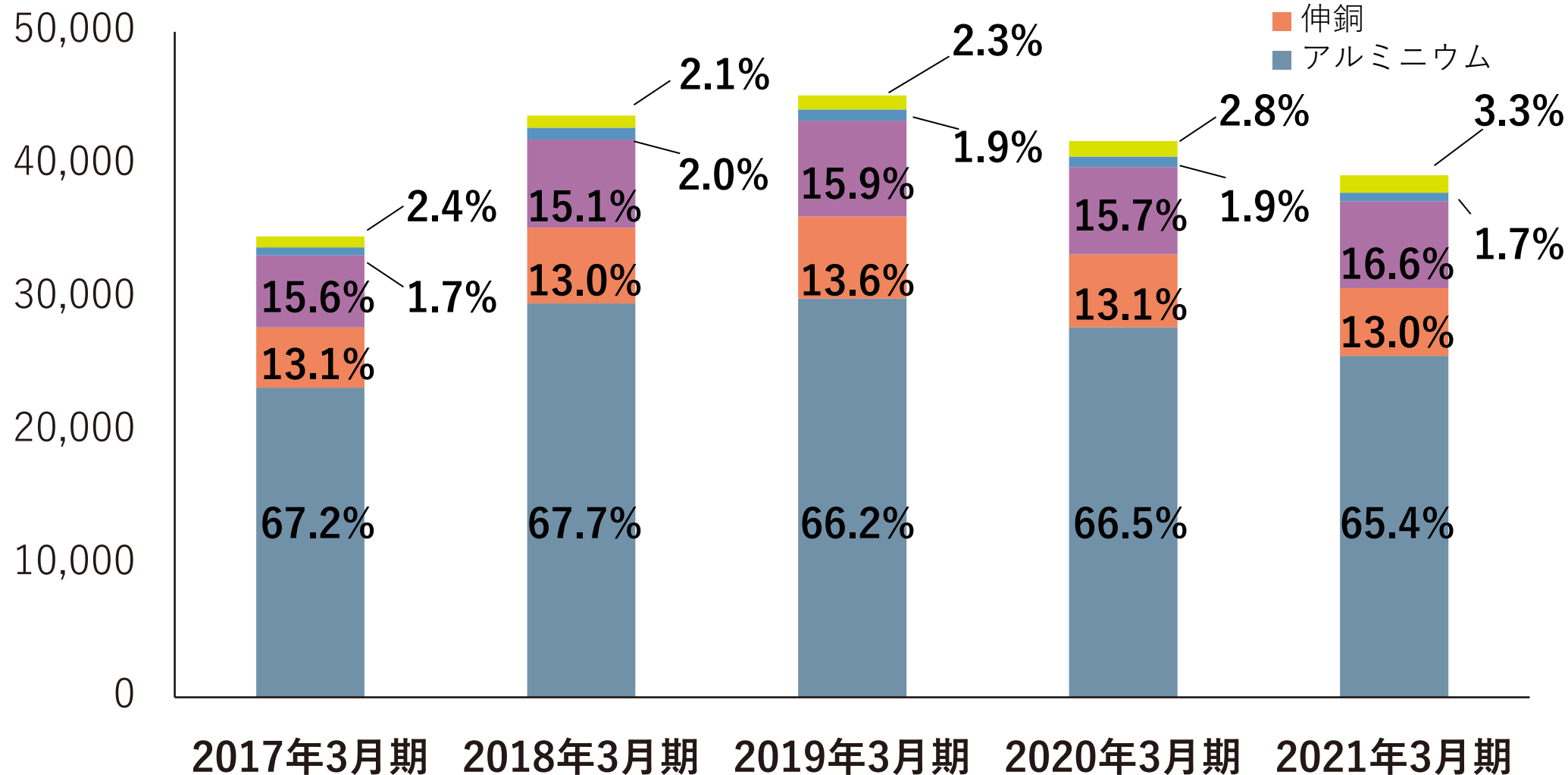


減少要因

4. 【連結】販売の状況（1）売上高の構成比率（品種別）

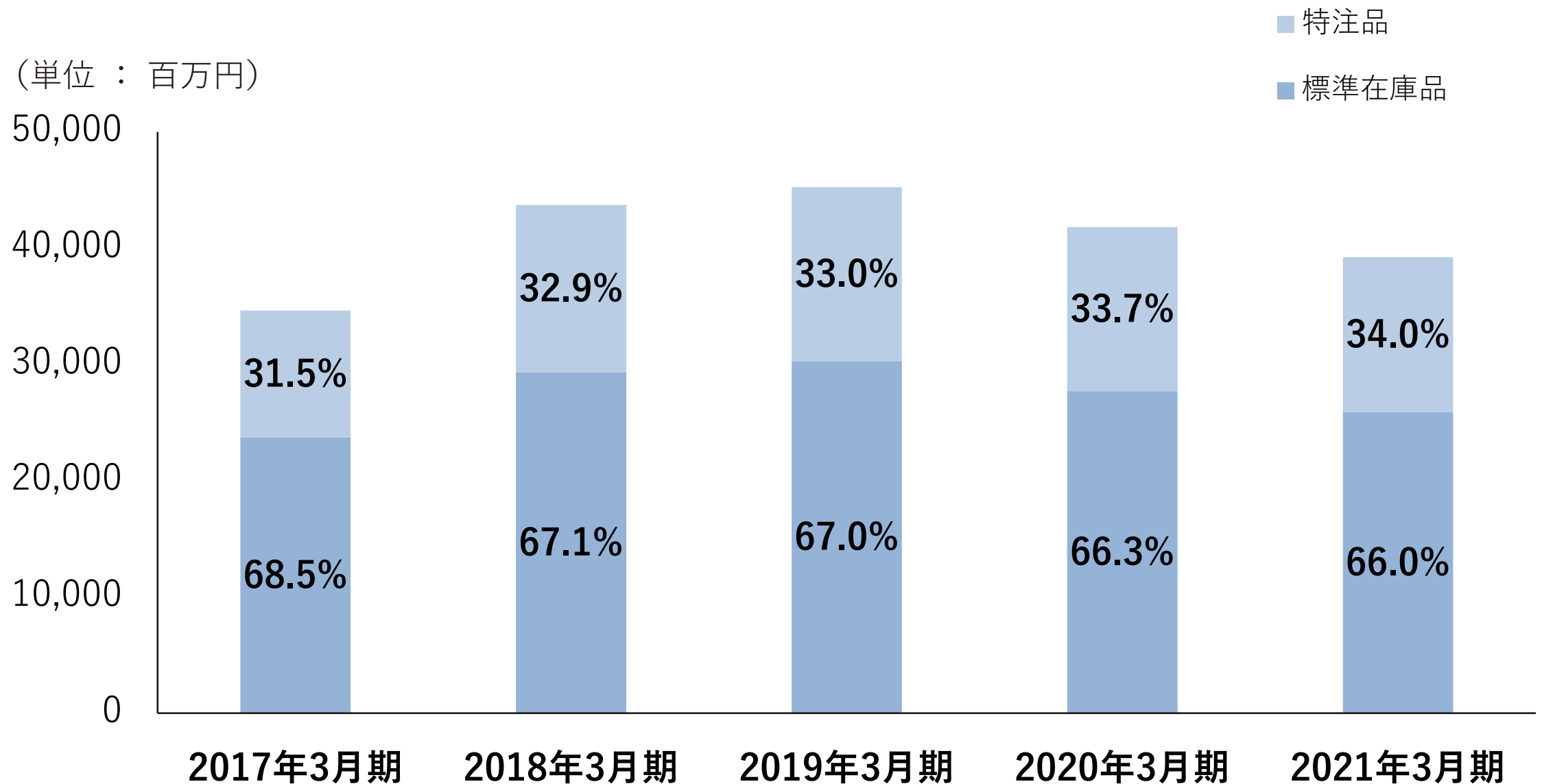
主力のアルミニウム製品の比率が前期比1.1ポイント減少し
ステンレス製品の比率が0.9ポイント増加した

(単位：百万円)



4. 【連結】販売の状況（2） 売上高の構成比率（標準在庫品・特注品別）

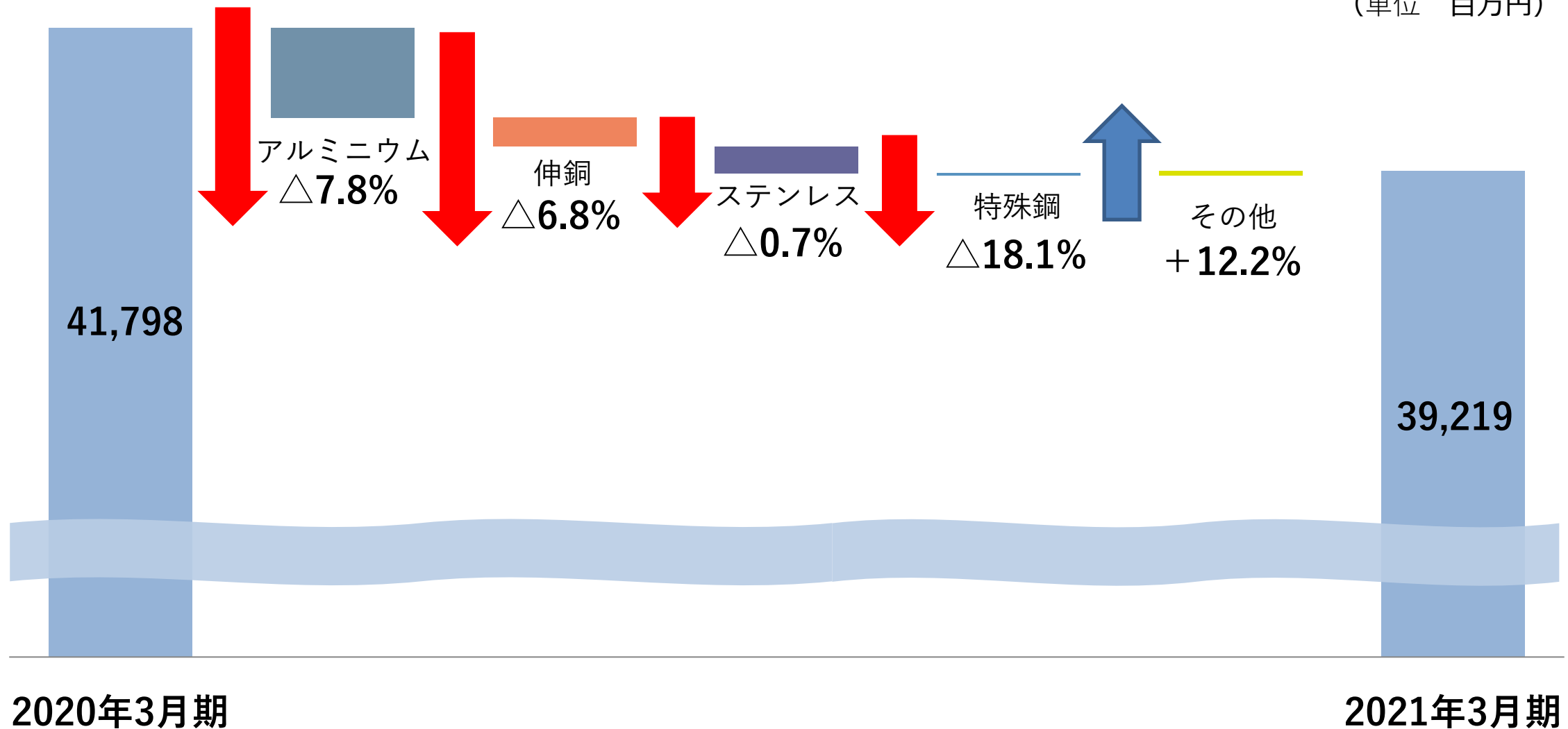
前期から構成比率に大きな変動無し



4. 【連結】販売の状況 売上高変動内訳（品種別）

主力のアルミニウム製品を含め全体的に売上高が減少

（単位 百万円）



5. 【連結】貸借対照表

<貸借対照表(前連結会計年度末比)>

単位：百万円

資産の部	2020年3月末	2021年3月末	増減	負債及び純資産の部	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動資産	23,695	24,851	1,156	流動負債	14,946	15,190	244
現金及び預金	4,969	5,924	956	支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	13,510	13,133	△ 377
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	12,533	12,851	318	未払金・未払費用	730	956	226
棚卸資産	6,077	5,961	△ 116	未払法人税等	210	469	259
その他流動資産	117	116	△ 1	その他流動負債	495	631	136
固定資産	8,376	8,264	△ 111	固定負債	44	56	12
有形固定資産	6,608	6,370	△ 238	負債合計	14,990	15,246	256
無形固定資産	412	402	△ 10	純資産	17,081	17,869	789
投資その他の資産	1,355	1,492	137	負債及び純資産合計	32,071	33,115	1,044
資産合計	32,071	33,115	1,044				

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 24,851百万円（前連結会計年度末比 1,156百万円増加）

- ・ 営業CF増加による現預金の増加
- ・ 期末の売上高増加による受取手形及び売掛金の増加

②固定資産 8,264百万円（前連結会計年度末比 111百万円減少）

- ・ 有形固定資産の減少238百万円（取得額485百万円 償却額724百万円）
- ・ 無形固定資産の減少 10百万円
- ・ 投資その他の資産の増加137百万円

③流動負債 15,190百万円（前連結会計年度末比 244百万円増加）

- ・ 支払手形及び買掛金の減少
- ・ 未払法人税等の増加

④純資産 17,869百万円（前連結会計年度末比 789百万円増加）

6. 【連結】 キャッシュ・フロー

増益による営業CFの増加と投資CF・財務CFの支出減少により前期末比で現金は増加

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	差額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,503	2,127	624
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,367	△552	815
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,230	△657	573
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△24	38	62
現金及び現金同等物 の期末残高	4,968	5,924	956

主な内訳

①営業活動によるキャッシュ・フロー

+2,127百万円

- ・税金等調整前当期純利益 : 1,886百万円
- ・減価償却費 : 835百万円
- ・売上債権の増減額 (△は増加) : △287百万円
- ・たな卸資産の増減額 (△は増加) : 139百万円
- ・仕入債務の増減額 (△は減少) : △386百万円
- ・法人税等の支払額 : △439百万円

②投資活動によるキャッシュ・フロー

△552百万円

- ・有形固定資産の取得に伴う支出 : △441百万円
- ・無形固定資産の取得に伴う支出 : △110百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー

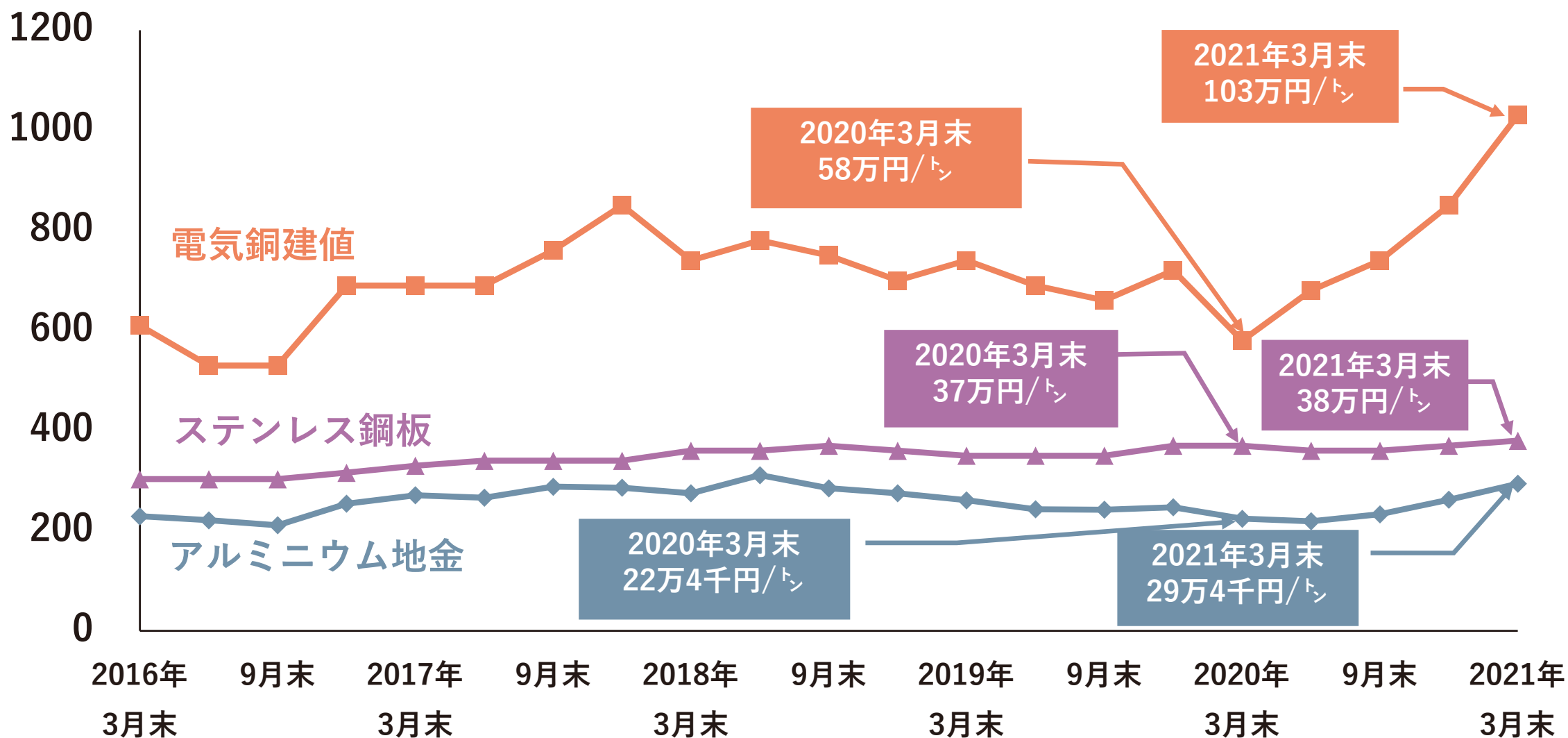
△657百万円

- ・配当金支払による減少 : △657百万円

7. 事業環境（1） アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

主力商品のアルミニウム・伸銅の地金価格は大きく上昇

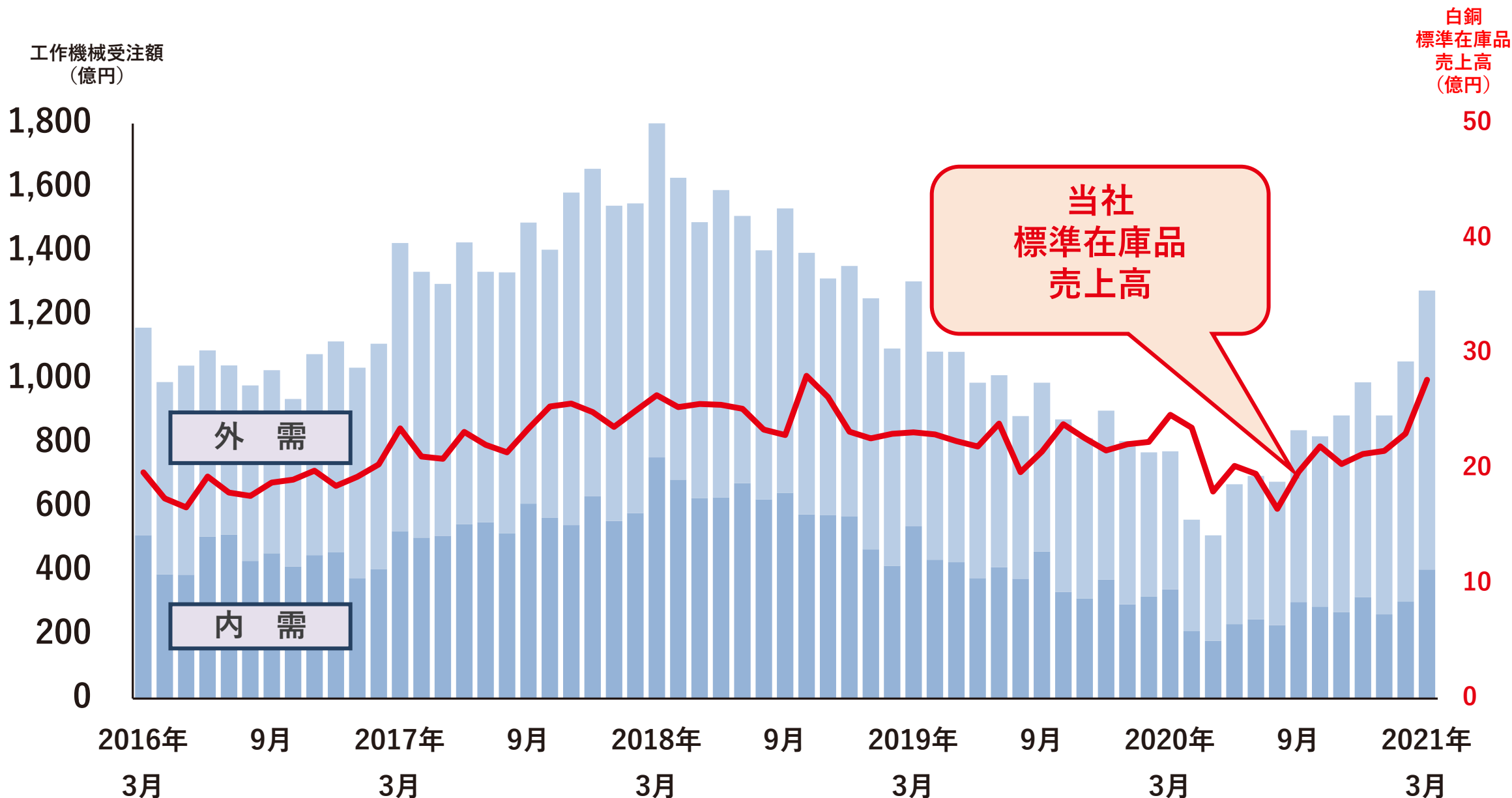
(単位：千円/トン)



ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値
 アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

7. 事業環境（2） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

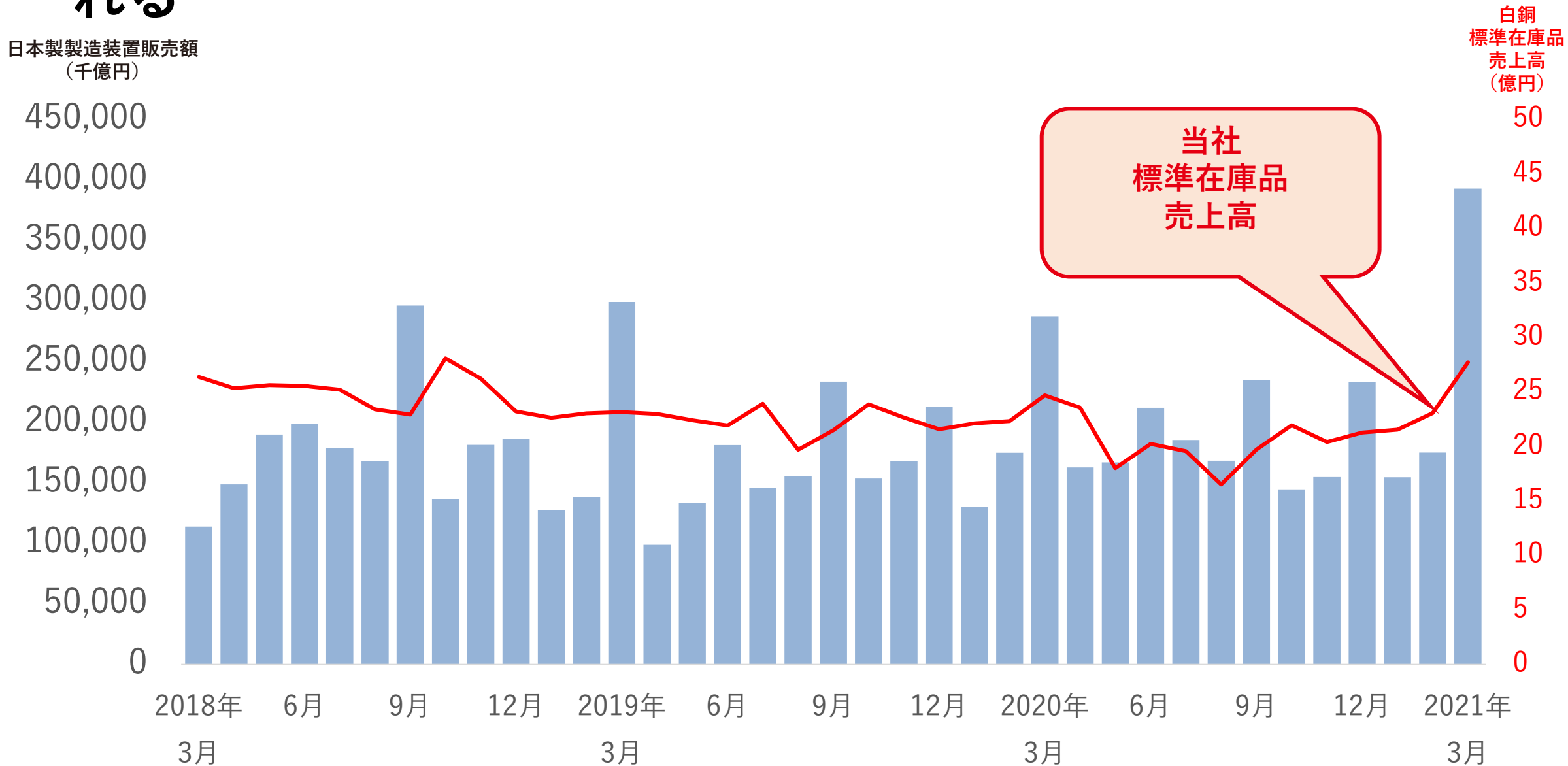
工作機械受注額は外需・内需ともに回復傾向



出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

7. 事業環境（3） 半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

5G関連やデータセンター向けの需要拡大継続が見込まれる



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

8. 対処すべき課題と進捗（1）－1

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-1 ロボットなど、省人・省力化生産設備の積極投入、製造現場のIoT推進による製造現場の革新

【過去の投資実績と来期の予定】

2022年3月期は工場自動化設備や白銅ネットサービスへの投資など873百万円を予定

固定資産取得額(連結)

(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予定)
有形固定資産	1,227	1,086	593	485	611
無形固定資産	83	213	111	105	262
取得額合計	1,311	1,300	705	591	873

設備投資の効果により、当社工場の生産能力は
2018年3月期と比較し137%に増強した

【納期繰延発生率（カタログ納期より遅延した件数率）】

2018年3月期と比較し2021年3月期は約1/13に減少

【製造関連の返品発生件数率】

2018年3月期と比較し2021年3月期は約1/4に減少

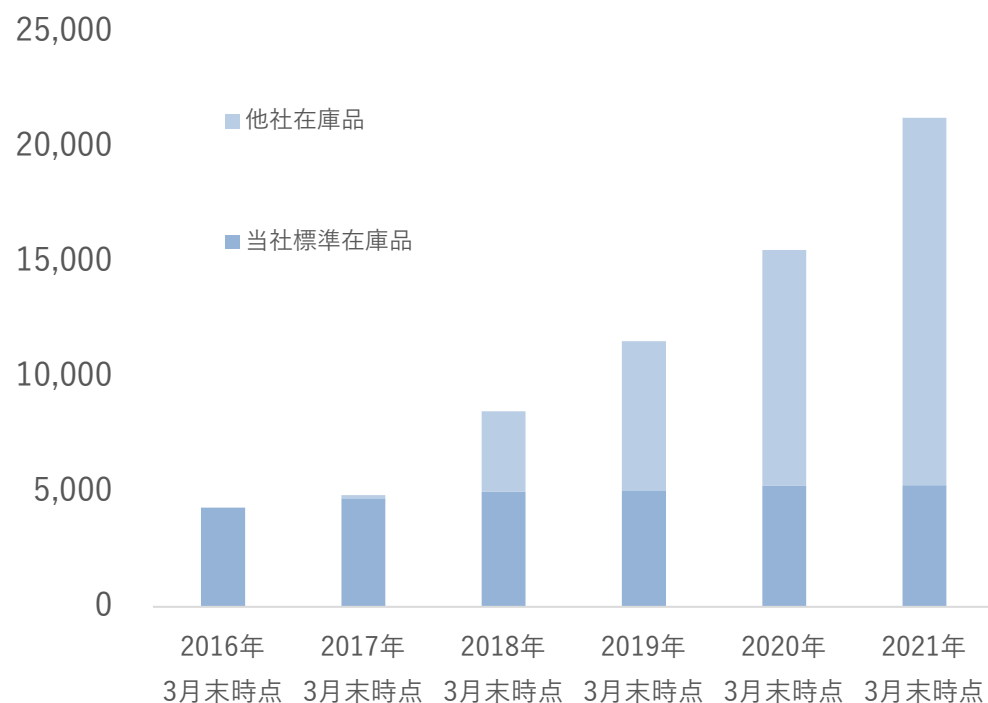
8. 対処すべき課題と進捗（1）－2

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

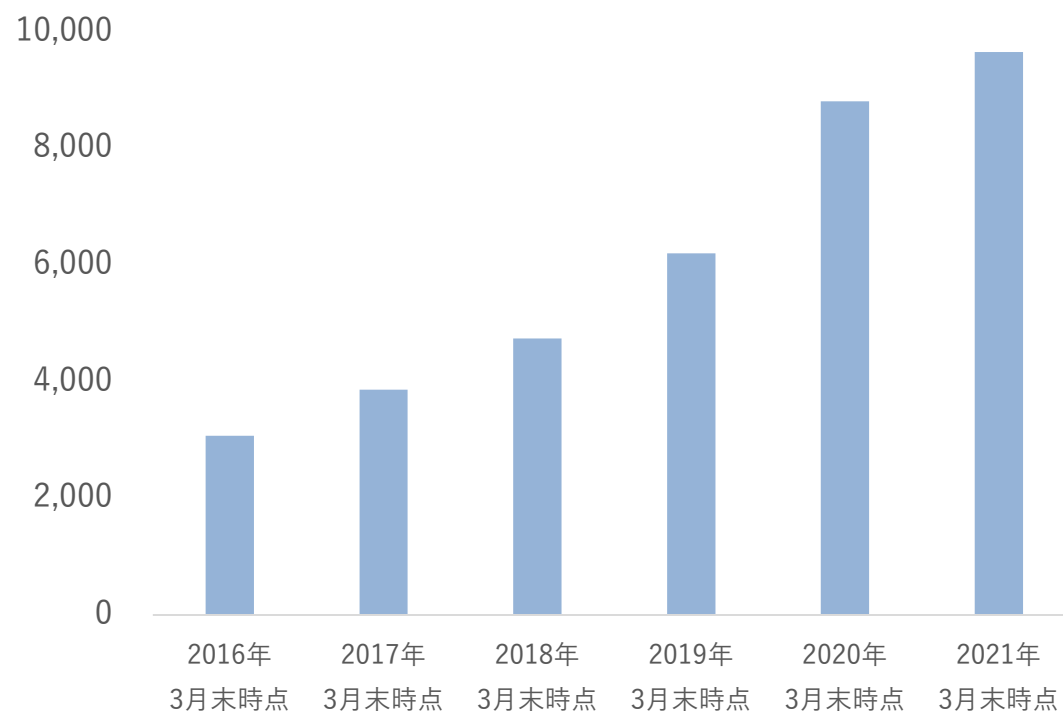
(1)-2「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・ 品目サイズを大幅拡充、当社標準在庫品約5,300品目サイズ・他社在庫品約16,000品目サイズ
合計約21,200品目サイズがご利用可能
- ・ 白銅ネットサービスへの参加仕入先企業数が100社を突破
- ・ 引合いの白銅ネットサービス利用率90%を目指す

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】



8. 対処すべき課題と進捗（1）－2

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-2「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・材料以外の商品も取り扱い増加中



にこにこグリップ（ウイルス対策用フック）



飛沫防止パネル

その他、エンドミル・ねじ・パレット等も取り扱い

8. 対処すべき課題と進捗（2）

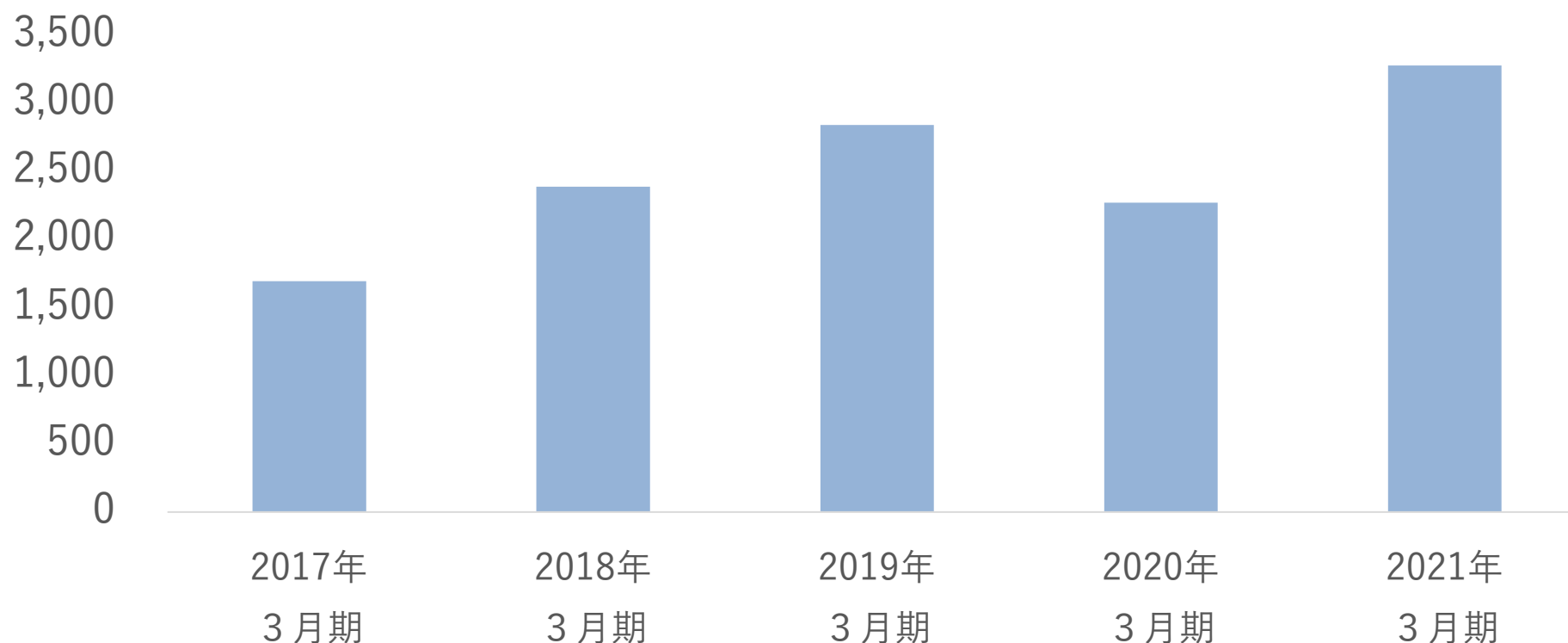
(2) 海外事業の拡大

- ◆ 海外子会社の売上高および利益の増大
- ◆ 2020年6月に出資を完了したベトナム大手非鉄金属商社であるオリスター社との協業体制の構築
- ◆ 海外での非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレート販売網確立
- ◆ 海外代理店との連携強化と新規進出国（米国・韓国等）の検討
- ◆ 海外でのWeb販売の強化

白銅グループ全体に占める海外事業の売上高10%以上を目指す

【海外事業の売上高推移】

(単位 百万円)



※日本から海外子会社以外への輸出売上高と海外子会社の売上高の合計金額

あたらしい、を、素材から。



8. 対処すべき課題と進捗（3） - 1

(3) 新規事業の育成

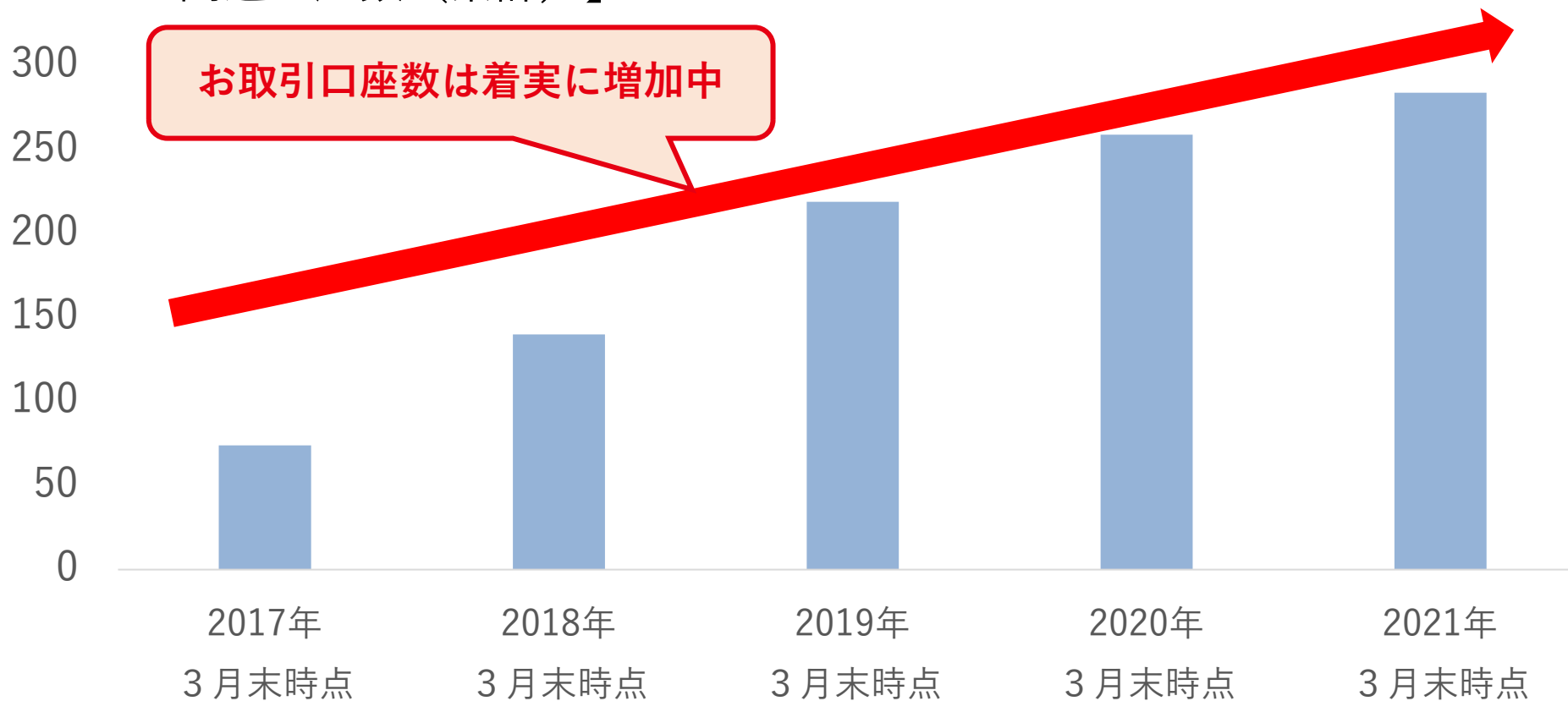
(3)-1 3Dプリンターによる金属製品の受託製造

- ・アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービスの販売強化
- ・3D造形に関するトータルソリューション「3D+ONE」
- ・検査設備増強による検査体制の強化
- ・3Dプリンターの相乗効果を狙った金型・自動車業界への拡販



画像提供：3D Systems Corporation

【3Dプリンター関連口座数（累計）】



8. 対処すべき課題と進捗（3） - 2

(3) 新規事業の育成

(3)-2 航空宇宙規格材料のコンビニエンスディーラーを目指す

業界最大級の
豊富な在庫ラインアップ

航空機の構造材、各種の装備品
や人工衛星部品などに使用され
る材料を豊富なサイズラインアッ
プで品揃え

規格に合致した品質確保

JIS Q 9100(航空宇宙)を取得
神奈川工場・滋賀工場

海外からの輸入にも対応

海外との幅広いネットワークを使
って、輸入にも迅速に対応いた
します。

2020年1月にウォータージェットを導入、航空宇宙業界を中心に販売展開



あらゆる材質を任意の形状に切断加工

8. 対処すべき課題と進捗（4）

(4) ESG/SDGsの取組み

経営幹部を中心としたESG/SDGs経営委員会を設置
「事業を通じた継続的な社会への貢献」と「中長期的な企業価値の向上」を実現

取組み例

1. リデュース、リユース、リサイクルの促進
2. 低炭素社会実現への取組み
3. 産業廃棄物の削減
4. 従業員とのエンゲージメントの向上

今後は、再生可能エネルギーへの可能エネルギーへの転換、産学協同での連携強化による開発、女性管理職の登用の推進、外国人従業員の積極的な採用などにも取り組む

9. 新型コロナウイルスの対応状況

◆営業活動

- ・ Webによる面談や販売促進用動画等リモート営業ツールを積極活用

◆受注体制

- ・ 在宅勤務併用により対応
(24時間365日お見積り・ご注文可能な白銅ネットサービスの推進)

◆生産体制

- ・ 上海現法を含め工場は通常どおり稼働
- ・ 国内5工場保有によりリスク分散

◆事業所対応

- ・ 製造現場を除く全拠点を対象に、在宅勤務率70%での平常稼働が目標

10. 2022年3月期【連結】業績予想

2022年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益を見込む

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)
第2四半期(累計)	23,700	32.9%	1,410	141.8%	1,480	140.0%	1,020	138.2%	83.93
通期	48,000	22.4%	2,920	47.3%	3,000	44.0%	2,070	61.5%	182.51

※2021年5月14日発表数字

10. 2022年3月期【連結】業績予想

～業績予想の要点～

1. 売上高

- ・ 過去最高売上高だった2019年3月期を上回る予想
- ・ 5G関連やデータセンター向けの需要拡大により好調が見込まれる半導体製造装置業界の伸張を背景に、白銅（個別）の標準在庫品販売重量は約23.6%増加を見込む

2. 親会社株主に帰属する当期純利益

- ・ 過去最高益だった2018年3月期を上回る予想

3. 配当予想

1株当たり配当金：第2四半期末36円・期末46円 通期82円

期末配当金46円の内訳 普通配当37円 創業90周年記念配当9円

配当性向：44.9%

ご清聴ありがとうございました。

■本資料における注意事項

この資料には、2021年5月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画本部長 關濱 亮
メールアドレス：001002@hakudo.co.jp
ホームページ www.hakudo.co.jp